事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要											
氏名又は名称		株式会社 岡谷生鮮市場									
代表者名	氏	名	吉田 宗就		役職名	代表取	対締役				
主たる事務所 の所在地			長野県岡名	6市銀座	二丁目1	1番20号					
主たる事業	大名	分類		I	卸売・小売	売業					
の分類	中分	分類		5 6	各種商品	小売業					
主たる事業 の概要	総合	スーパー									
		条例第12条第1	第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者								
制度に該当する		条例第12条第1	除例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者								
要件		条例第12条第1	項第2号に該当っ	よる事業	者						
		上記以外(任意	上記以外(任意提出)の事業者								
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年	度報告	第二年度報告	第三年度報告				
原油換算エネル ギー使用量	k1	300. 43	297. 43								
エネルギー起源二酸 化炭素排出量	t- CO ₂	607. 14									
調整後 排出量	t- CO ₂	607. 14	601. 07								
その他ガス 排出量合計	$t CO_2$										
自動車の台数	台										
自動車からの 排気ガス合計	t- CO ₂										

2	基準年度、	計画期間及び	「報告対象 ^年	<u>F度</u>					
	基準年度	2022	年度	計画期間	2023	年度~	2025	年度	

報告対象 年度 年度

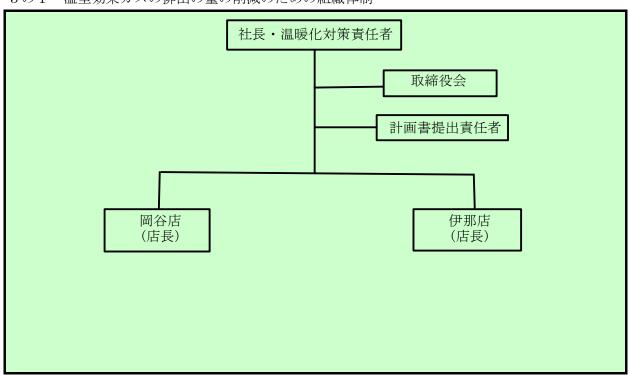
3 計画書(報告書)の公表方法等

ホームページ	
印刷物の閲覧	長野県岡谷市銀座二丁目 1 1 番 2 0 号 株式会社 岡谷生鮮市場 社長室 $0266-23-8777$ $10:00^{\sim}18:00$
その他	

4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

1.省エネルギーの推進とCO2削減を基本目標に削減計画を立案、実施する。 ①岡谷店と伊那店の「省エネルギータスクチーム」を組織し、計画に沿って取組みを推進する。 ②電気・LPG・ガソリン及び軽油・灯油の化石燃料のムダなエネルギーの削減を図る。 ③空調設備・冷凍及び冷蔵設備・照明器具・冷用ショーケースを省エネタイプへの切り替えを順次実施する。									
2050ゼロカー	ボンに	に向けた中長	期的な目標等						
目標等の有無	無	目標年度	年度	削減目標					
削減計画の概要									
イニシアチブ 参画状況		SBT 🗆	RE100 □ 再エネ RE Ac	は100宣言 tion	□ その他				

5の1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



5の2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

温暖化対策会議(年2回)の開催

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

6の1 エネル	ギー起源 一酸化炭	糸の外山の里の	ノ月リが吹い	- 体の日保及い夫権]		
基準年度	基準排出量	607. 14	t-CO ₂	売場面積	3. 44	単位	千㎡
2022 年度	調整後排出量	607. 14	t-CO ₂	基準原単位	176. 49	t-CO ₂ /	+m²
目標年度	目標排出量 (調整後排出量)	601.07	t-CO ₂	目標原単位	174. 73	t-CO ₂ /	+m²
2025 年度	目標削減率	0. 99	%	目標削減率	1.00	%	
目標設定に 関する説明	LED照明器具の導力 み開始による現地 を有効に活用して ネ型の空調機、冷 に取り組んで行く。 もに、ピークカッ	調査実施内容を 全社的な改善提 凍庫、冷蔵庫、 。以上の施策に	た検討し 是案を進 店内シ エ取り組	て、温室効果ガ はめ省エネの取り新 ショーケース等の見 はみ3年間で1%の能	ス排出抑制 <i>の</i> 組みを行う。 更新を順次進	つための また、 生めて省	組織 省エ エネ
第一年度	排出量		t-CO ₂	売場面積		単位	
另一 <u></u> 中及	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
2023 年度	削減率		%				
排出量等の 増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂	売場面積		単位	
71-172	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
2021 1/2	削減率		%				
排出量等の 増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	売場面積		単位	
カ <u>ー</u> 十戌 	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
2020 平戌	削減率		%				
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由							

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

6002エイルキ	一起你一般化灰糸以外仍	温室効果ガスの排出の量の削減に	.徐る日悰及 <u>い夫領</u>
基 準 年 度	基準排出量	t-CO ₂	単位
2022 年度	調整後排出量	t-CO ₂ 基準原単位	t-CO ₂ /
目標年度	目標排出量	t-CO ₂ 目標原単位	t-CO ₂ /
2025 年度	目標削減率	% 目標削減率	%
目標設定に 関する説明			
第一年度	排出量	t-CO ₂	単位
另一十段	削減率	% 原単位	t-CO ₂ /
2023 年度	調整後排出量	t-CO ₂ 原単位削減率	%
2023 平度	削減率	%	
排出量等の 増減理由			
第二年度	排出量	t-CO ₂	単位
<i>31—1</i> 12	削減率	% 原単位	t-CO ₂ /
2024 年度	調整後排出量	t-CO ₂ 原単位削減率	%
2021	削減率	%	
排出量等の 増減理由			
第三年度	排出量	t-CO ₂	単位
炉 二十戌	削減率	% 原単位	t-CO ₂ /
2025 年度	調整後排出量	t-CO ₂ 原単位削減率	%
2020	削減率	%	
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由			

6の3 自動車	この使用に伴う二酸化炭	炭素の排出の量の削減に	こ係る目標及び実績	貴
基準年度	基準排出量	t-C0 ₂		単位
2022 年度	調整後排出量	C CO2	基準原単位	t-CO ₂ /
目標年度	目標排出量	t-CO ₂	目標原単位	t-CO ₂ /
2025 年度	目標削減率	%	目標削減率	%
目標設定に関する説明				
第一年度	排出量	t-C0 ₂		単位
为 干区	調整後排出量	C 002	原単位	t-CO ₂ /
2023 年度	削減率	%	原単位削減率	%
排出量等の 増減理由				
第二年度	排出量	t-C0 ₂		単位
第二十 段	調整後排出量	t 002	原単位	t-CO ₂ /
2024 年度	削減率	%	原単位削減率	%
排出量等の 増減理由				
第三年度	排出量	t-C0 ₂		単位
为一十 区	調整後排出量	t CO ₂	原単位	t-CO ₂ /
2025 年度	削減率	%	原単位削減率	%
			<u> </u>	

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
$I \sim \Pi$	I -1	燃料使用量等の定 期的な把握						
1 11	I -2	エコドライブの励 行						
Ш	Ш-1	次世代自動車の導 入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導 入						

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

					計画	状況		
番号	区分	設備等	対策内容	実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)	
1	エネ起	空調機	空調設備の更新と効率の向上	2023~ 2025	45			
2	エネ起	一般管理事項	各種エネルギーのデータ管理と使用量 の把握と分析	2023~ 2025	2			
3	エネ起	熱源設備	冷凍・冷蔵用ショーケースの定期点検 と清掃の実施	2023~ 2025	2			
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	0	0			
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書 非FIT非化石証書(再エネ指定)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
Jークレジット	t-CO ₂ /年					
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年					
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
(原油換算エネルギー使用量)	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	2	607. 14						
合計	2	607. 14						

12 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 $(t-C0_2)$

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH_4				
$\mathrm{N_2O}$				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF_3				
合計				

13 次世代自動車の導入状況

(台)

				(口)
自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイ ブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼ ル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	5			
次世代自動車導入 割合				

14 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	特になし
自 転 車の利用促進	従業員用の駐輪場を設置し、マイカー通勤の削減に努めている。
来客者の交通対策 / 社 用 車 等 の 移 動 に 伴う取 組	特になし
電気自動車用充電 設備の設置 /電気自動車の導入	特になし
物流の合理化	特になし

15 環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細				
		実施内容				
	SDGs	長野県SDG s 登録制度へ登録している				
	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD) 支持を表明している				
	環境マネジメントシス テム	環境マネジメントシステムを導入している				
		名称				
	グリーンボンド・ESG 投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している				
	ZEB	の認証を取得している				
	ディマンド・リスポン ス(DR)	電気の需要の最適化に資する措置(上げDR・下げDR)を実施している				
	その他					

	· 12			
1 6	自由記載欄	(特に重	這点的に取り組んだ内容やアピール事項等)	